英帝國會議開かる

場を順明、開館式は午町十一時三

ボ首相の歡迎の辭に次い

各國代表が自國の立場闡明

極東艦隊を組織する - 萬ポンドを以て

英帝國會議で檢討か き汚患を加へる外なきに至った留時を思はせ呈してイギリス政府が平和や脅威する危険に

運は著しく健康するものと見られるが、自治部問題な聴能問題が概まればひいて国際維持党部の著 が迅速に共同作職に出られるやう共同プログラ、風險情勢に一日飯急ある場合帝國各権成分子」述べてゐるが、今回の儆識では 下を財誕するのではないかと言はれる英佛政府の意向が孤まれば開税障壁の全面的

ウイン首相が確長として希望が別を開陳した通りの背國際級と解してゐると云はれる、鄧級の主の管國際級と解似してゐると云はれる、鄧級の主の計画を解した通りという。

ちに国際政府に軍大院響を襲へるものと見られ

同時に「国際政局の諸問題の解決案」を検討する 刻下の情勢は「九三一年の國際情勢が逐次緊迫*のと見られる、タイムス紙は十四日の紙上で

の共同作戦機についてニュースタロニタル外交記

隠において真徳し、媛徹は各自古顔で分徳する 嵯峨の維持費年額一千二百萬磅内七割五分は本にシンガポール 軍港に根據地を置く 五度、巡洋銀隊二隊、驅逐戦隊三隊、計自翌上、同艦隊は地中海艦隊と殆ど同勢力で主力艦十、同艦隊は地中海艦隊と殆ど同勢力で主力艦十、七千萬億で以て『帝隣極海艦隊』を組織する

者は「市国極東艦隊」衆の結成を若庵する天の如 1583くべき消息を借べてゐる

ニュースクロニクル外交記者が傳ふ 午後四時までに府秘書係か加山東書堂で催すが、食贄三國で十七日

號母破の原因は 未だ判明せず

ーズ氏等はイギリス改析制に財一ス島家館ハンター撃隊校の財政にれる既に同行の上海開始が務計 【マドリット十四日同盟】イギリーの北京の上海開始が発出し、「マドリット十四日同盟」イギリー

イギリス海軍省發表

一閣僚の補充難 **此際急ぐ要なし**″との

パレンイギ リス酸相も一夕 孔脈

勢郎

書作「(53)

皇石塔へ往つた。其處は天保年間|

題は、その月の光にほかされてる あったが、その頃はまた単に復し に一度懸ぜられた遊樓邸の一つで 至に月があつて家いへの行覧の

街の姿は關げに触つてみた。八郎 た。龍藏は一度來た事があるので 水には荷足や漁艇が繋いであつ 龍蔵は頭を持つて往つた。

た。其虚は一方が原制になって、

「健い女だこ

なかたゆ味情・」るふあ力魅

離婚だらうご

た住い女か、ど

那と歐洲諸國雄にアメリカとの經濟的。軍事的に緊閉である。支人には理群困難なほど政治的、

剛山(、井三百午後九時半人成三等三十名、十六日午前八時人成金) 主組金剛山深紡廟白田三郎氏山) 主組金剛山深紡廟白田三郎氏田 一種

間の建定で頭別へ 今山本遊離氏(日本語楽迪信副恋 長)十七日午削三時京城設十日 長)十七日午削三時京城設十日 ED(地元知火底館へ二、三日都既在員) 事務行合のため十五日服邸併變松氏(本版事務官新京 東上中の遅十

「おめへも、遊響にたりたけれや」「そんな事はねぇ

の大将も、緊黙で懸ひきつた事を他のする事をよく覚えときな、家

「それちや、假気があったのか、

りあに店業・店品粧化・ト

るが、俺はそんな物は持ちあはる一つそれちややつばり、おめへを可

・窓外階におけた女に可愛がらいぞ、年増の三

會高葉三 版大・大泉

今晩、その年

「どうだ、彼の都々趣の文句のや 此とへ入るか

六郎は途中で一ばい引つかけて いで飛びを促じてゐた。六郎はてゐた。六郎はれて入つた。右 れて入つた。

¥.35 .55

日支州は関係は到底外間

意見閣僚間に行はる

人

り臨城の川岸第世師際長、十五日大邱と

上、新代議士は協民の總総を代 林さんはさても顕常い人ちゃ

い、結成さんは縁の下の力様た 林さんは甜菜醤油飲なれとい。の漁師が干品畑で同ふから来たが、

の浪費おや、この創度の貸めにに呼び出すなんで、時間と手数 さしたる用でもないことに電話 思つてるのか、顔だな、そんな事 「へいこの地方には電話器用の繋がある 思つてるのか、顔だな、そんな事 「へいこ 電話が度数観になる。一體こ ところが人の衣裳をさる我物

する自分の主義方針と同談思のも、本事要とより工具と言う可じまた。 大臣に関しては林倉田が文教に願いて、文部、となって関於補が問題につきよ、事實と関し合せて校めて末月これりとなって関於補が問題につきよ、事實と関し合せて校めて末月これのとなって解於補が問題につきよ、事實と関し合せて校めて末月でいた。

總費は東十九日開館の復定である「国際相補でも欧度南端が相域部し第二、第三階変域館は十八日開館」がたか選任者がない、攻總相、撤の第二、統治問題委員會

めて重大視されてある、意識の能 最初の情報だけに情報の経過は最

合品が既正された仏だが、開創

と英本國と均等自由のパートナー

ング肖相は自由民主主義の定義を 次いでカナダ代数マツケンジーキ

上費の節約をはか

緩急に應じて促進

補充を行ひ内閣の陣容を懸備し、

速かに訊開以來策議の主くとな、光工作は最初の象を通り懸形せず てゐる文相。館相・樹相三職院の『記述に至つて一職院補充はこの意

桐大政族党から適富な人材を得る ことは絶霊視されるにもり研究補

きに驚明したる人大戦策の其體 (路間に行はれてゐることは、內羅

急ぐ必要はない」と云子を見か厭

更に追加豫算要求の外なきか

物價騰貴と鐵道工事

職罪を構成するに至った

印度その他代表三十條名出席

技術上の諸្解案についても複数を憲法上の諸問題、交通その他管理の構成分子間の關係に關す

間に不可侵煙約の関廃的源解が「町に各興代表もそれか、自國の立」に含及深く推樹の急を表した。 電大関係を保持してあるが、同一切の太平洋語問し、答かでない「不可促進物の造成につき他の」「飲選しなかつた。カナダ代表の音域に記ぎ、が今回の治園電源には径に代しる観りの援砲を勝せればならぬ」「浴の太平洋語問と解してあるが、同一切の太平洋語問と解してあるが、同一切の大平洋語問と解してあるが、同一切の大平洋語問という。第一項の大平洋語問という。第一項中に近季隆電的意度に出て、例の例的を整備するため出来得」「出来れば大いに恢迎しゃう、第一項中に近季隆電的意度に出て、例の例的を整備するため出来得」「出来れば大いに恢迎しゃう、第一項中に近季隆電的意度に出て、例の例的を整備するため出来得」

旅道しなかつた。カナダ代表キン

の指揮下に完全なる覇立質場に選 【ロンドン上四日同盟】 アイルラ 態度に遺憾を表明

十里間、返消一大郎四、校川一大郎四、校川一大郎四、

「愛材はじめ諸ත科の清費節約」昭和十年中の鑑道事故總器は十四」立つて増えてゐる、過失略記として敬楽の国資産行を別 日出來あがつたか、総路観察、別 ては例のロールを就に機能する要せられたい、併しながらも数 の地域さる要するとして敬楽の国資産行を別 日出來あがつたか、総路観察、別 ては例のロールを就に機能する要はいる。

道局の防止の手を備ませてある 事故のうち列車妨害と死傷導放 事故のうち列車妨害と死傷導放 大、空節腕には死傷と似てある

日米關係は

それを内譯して見ると

群を要求されるが如き集合は最

れ、御旅手も交はさせられた

れるが、歴上鉄父御名代宮 能も事難を極めたものと云は

よろしくお**限へあらせられた** 生下には御歌蘭の熱を御表明

応不可能で、追加教育要求の外な 百を通牒し來つたが、目下の情勢

と述べさせられ、宴後職々

二委員會任命

第、基地式の御屋しの内にも、葉を 御際言 遊ぼ され、皇帝

御出席遊ばさる

テートバンケットに

|記録||新聞||選者を受比||フサイテイのレモブションに出際 |ソサイテイのレモブションに出際

英で活躍せ

になると内閣がガター〜を給め 事長に 選ばれ たので 宮中 々行

姿もモダンに増設された公衆電話(京城府賦例)

のトランクと駐日公使儲行問題人 ゐるが同氏の申告よれば手驅り品 シャ評以外一切話せず比集旗して ホレスラススチエスニヤク氏はロ

作品と配摘と扱うあげ、選手等はは毎日の投流を描うがすべるに登録におくりは米減等。で、場場の

左く全く未知の世界なので今朝鮮、河洲は一度も来たこと

國際列車"ひかり"で

外交文書を盗まる

ポーランド書記官ご難

作誕生に現場したホレスラス・

犯人捜査を依頼

保証者が同地同村の幼馴染・選集制を 保びて著席 配金 山行」「中等コンパートの中に置いてあって、「大殿でして収入物番中である、盆の方腹炎などない、朝鮮に レステススチェスニヤク氏(など)が、八時晩点洗練で川候的変調過の融)のを観覚、高度製が山界に申告しらだが、私には全くの自然、ボーランド上海時間単純武龍氏・「ひかり」で東上の途中十四日午後 | た底製売組入の砂が観ぎれてある。 2877に 日本で入ります。ここでは、新年の一次の一次の

今の所全く白紙。

小林式縦横談一くさり

のものだ、東海のスター引扱きで質つて見たいと思つてゐる位

裁約長小林一三氏はよいりと領海 概察の底に上り十五日朝人港の連

り投げ出した語風の人、東京電

開始で笹山に上陸、磯道ホテルで 単雄の後限州へ向つたが、質問の

てむると自然海状されよう、歌ではどうかつて了世間ではうる。 大学の大学が、日本の映画のはだが、代明が行は和野時代に適したい前庭や都繋でやつ代に適したい前庭や都繋がやった。

うかと秀原中だ」
うかと秀原中だ」
のから、地方の地方では、大山の海江を全て危険を関しカメーや前別は同れる田野には、一中の河流を出てた。地方の地方では、地方の河流を出郷北支に戦き戦闘場だらうか、、地方短線に日本・中河京域を出郷北支に戦き戦闘場がらかか、地方の戦争に、城大山高部成場前一君は去る三月一名さうだが、映蹟以外のレヴュー

一社会院編集

所を呼にそりしながら小林氏経

城、朝鮮ホテルに二語の上北鮮地方その他を視察することになったが、同氏の米鮮により相當典

三十五分一あかつき」で入 ゐたが突如十八日午後一時 る事業を討論中と戦されて

氏はかねて半島を卸張とす

東京正時間此門長小林一三

都の資行外に輸出し一大セ

内地震観光の徹底で更に東 ンセイションを控き起した

地を一大熊県当町化する制地が買現地を希びるものとして消滅され興行樹齢の関連に新たなる脚脚ある事業が買収するのではないかとみられ、その内辺からず新飛起戦する果朮屋県支配の瑕鑑

珍しゃ小林一三氏の御入來

東部院副で飛行することになった「按断職を指引しば成のみの環山費(砂の新物を節やかに中気闘ら襲ひ、東部院副では大郎」は太公認の関心を踏やし意(よるまっ十六日素砂の富平水利量台(原配)太本社は水利量台に交渉し度(狭行するが、南土つた後は山脈網)は大公認の関心を踏やし意(よるまさに生態兼動スポーフの瞬)は好明にある。併し至日小事でも大郎」は大公認の関心を踏やし意(となり、「東京語を誘鹿げ新方式に(五日変からはつきりし出し十六日めぐる本群生闘の「元学院の関係」 SRが縄型が附の大カップ研程戦を | 水ポンプ過まで全線脱級二里にわ | 京城河鉄所の珍たてによると「十

殺しいなっていに延長し三手機を「牧場とし一般の混人を避けた、十一立つ釣地群を待ち受けるかのやう

角に

、萬圓のほろ儲け

ガリリンを掠め

京城牧田商會の惡德暴露

の機能面留が相当器になげられ取調べの漁艇により被害は寛大にのぼる機器である 居るとき数年間に辿って巧妙な手段でガソリン種の中味をかすり取つてゐた京城郭指 物域の経は、ガソリンの暴露で自動車業者が記鳴をあげ目動車医癒上の運動を建して

業者で 能及した結果先事質がCo)は夏城能指の戦団(玖、キングタクシーを融入に厳重)英雄と気はれぬ田爵館の理様は高 場が開始可七〇城油菜牧田高油 当の法保か採用し牧田高油主を引 口止め料に干五百圓 記及した結果石郡質が明らかとな

七年連續の不正

であり京城府内は勿論館内各地に一の店庭四名をも引致取劇べを進め 巨萬 の富を融んだ質素家 り酸茶色めきたつた同窓では簡繁

ので不器を抱き撤去したところが 提配の京城府選江通ニャングタク シーではガソリン雛が何時も慌い 原館を載つて歴業中であるが、常 **《保意さきをもも華やかた』である。牧田商館は昭和五年頃が一應の全面に及びつゝある**

實現性極めて濃厚

斷髮女醉狂

と思徳牧田西館を願く 際に侵れ七年間に胡慶化したガッを襲ひっ路業牧田商館への看戒の ら巧妙な方法によりガソリン リンは目下蝦明した分だけでもず 一般の自分の姿にピックリ、結局版一さで十尺能の好を乗り越え上が 姫順さん(え)で味噌で一夜を明か

別決 のメスは動く間内が

による職件の預配、畜牛門所引行 を計り散幅化牛の激烈、低利さん 好を示し、最近では前別へも大量 九千頭の移出をなし逐年増加の超

こと」なった 明年度製算に要求する | れでもなほ不足を告げるので明和 「白五十五萬八千頭の大地庭討僧

十日日取組

玉咖啡爾 永大 土壤 巴金 大山州州 州 州 州 部沒 洲花

仁川の潮寺

干潮鏡

下には一千億名のファンが試合機動前の関軍の火の出るやうニブリーパクテングや、垢臭げのした現地のに見べた回転であかけ三種終結局最も来起郷に数をみせメーンスメンド、南丘スメンに関連の正はファと切つて落された、好明とは云へ以雨雲もものかは、は夢来の雨あがつた十九日午達に降十分輸設のプレーボールに米國試験ポマーシュ氏の鮮やかって沙水の雨あがつた十九日午達に降十分輸設のプレーボールに米國試験ポマーシュ氏の鮮やかって沙水の雨あがつた十九日午達に降十分地域のアレーボールに米國試験ポマーシュ氏の鮮やかって ル目指して大照客込ん。風、デラメメの野歌蘭を題へ本似主脈の四、下記蔵の野頭を節く見ず殿域水里洋の祭器を繰り越え、日本副野の野家に燃え、温薫池勝の四、下記蔵の野頭を節く見ず殿域や大学は、日本の野の野で 大スタンド揺らぐ 米國總領事の鮮かな始球に 第二世對府廳 火蓋を切る

列車国から登山と連絡をとり間直

この御難

6宜川の間であるか、不明で京城離の場所は安奉線か、咲は安東か

難にあった再類は本國上り上海記 著した重要公文書で語

> 領地方を踏立し極大定軍に資料を されてある、目下開程は高騰の釈明出出資の建てあるが明真は北 為真、その他に改重な資料が消得 に適日より通信があった。同者はある場子にの路気を行ったもので

人ナタリアさん。『』と変領派にお、壁三分泉湾解著下派し一殿勇郎は「に寒を海したので形内名器に郷査りのトランク二解を持つてをりた。 スチェスニャク氏(十五日平町二) 朗韓首七十五國で履は北京日すぐ テルに投稿。関早朝總権府を訪問、 脚を出してゐたところ十四月夜往 野三分京寺職者下鳴し一點朝鮮木 に妻を領したので形内各箸に如査 登助力方を申出た。

いて食事中国類を殺されたもの

總督府を訪問

副べの結果前併金路回しの常語形 添町二丁目飲食店付業順方へ現れ たところを西大門署員に捕まり取 事題江した出十四日縣道局版山氏 難したが今度は一変多の誰を必め、 貴重な資料期待さる 踏一中で今月末頃歸渡の習

城大山岳部泉靖一君の冐険

で千回近く稼いでゐるとが勢つた

前寄踏み倒

銀清 住五 和竹 高荒 名駒 大線 術校 水 ク ボス 遊 コノ 神師 岩川 川島 山川 登山 岩里 油着 山間 会と催し 玉斯 新布 出太 概题 防星 船羽 7旧 光 初初 展出 商山 英若 甲昇 山甲 山山

1000000001

1 0 0

0

退就総の上雇王に引渡した 験官を置ました不敬しものである

競村振興運動に伴い側針中の管理 今遊にが明白を終の生活運動になった。本村では の動向と終の生活運動に対している。 の動向と終の生活運動にといす として斑く蜿蜒せられ、似年六萬 | 後一時から府氏頭中海常で明確とは住職の大型地では食用に | 今郷城蜿蜒第五回幕宮は十六日午の鮮年は性質が退場。 照照側頭で 供たものため間で釈説含を開き子の時間で表現を

台國時觀馬資ニ內地人事務員ヲ考査ノ上採用ス希望者ハ東リニテ

樂部

(MION)

工程学

事務員募集

日午期十時から執行され祭典にさきだち十六日奉納維製が限される。

金 市 商力主声 晴れたり かったり

日 南の風 いかがらは

部川原(旧西の風) ナカ部の破階層(相当乃丘)

第十回宣傳

(本四日) 最初により、(本四日) 最初により、(本四十時から発失主、概算質の 毎上では繋がかくるかも知れない。(本四日) 最初により扱うたり、(本四日) 最初により扱うたり、 仁地方

料御實験申上て居ます

無

を願さんごと味種で一夜を剪か | を取押へたが、舟橋2: 三八届に姫郎さんごと呼種で一夜を剪か | を取押へたが、舟橋2: 三八届に のでそのまま検束した、この歌語。突の金綱を節取せんとする少年を子を使頭しどえらいタンカを引る。五一水野さのさん方に忍ひ込み過 美人は投展町の投展ホール女給金|家人が歴史本可器に急報して釈 十四日午後二時ごろ京成不同二丁 **地五分**(日本時間十五日午前零時 **州五分)アテキに到着した** 分117出部、十四日午後六時 77五分(日本時間十四日午後九時 五分)ローヤに安置、午後一時 猿の身輕さで 警官を悩ます 泥棒少年揃る 初夏の食卓に

本署へ連行したがここでも別窓前

谷デバート及食料品店にあり

羅謂 描的

開乱の神風観は十四日午後一時

アテネ着日間間朝日

【アテネ十四

平合

日本 樂 縣 會 地京城本門二丁目京城本門二丁目第本三四八五 金九百五拾圓以上各種金五百圓以上 各種

大景品,特元 **バ月末日マデ 勘論** 今が求めの絶好機! 山口樂器店 總桐 タンス が當る 等に (空くぢ無し) 呈進グロタカ

拓紫社

5明日6日曜日は明治座へ 午前十時より開演 嵐の翼上映 が繰ります ローレツタ・ヤンが主複フランチョット・トーン 十七日から洋臨 人妻の戒律 回

10000000 奏効的碓百パーセ 文 見 千式 と 事 義特許 ントの近代的治療器 型ラヂオレ

(邱家庭で何人でも回使り出來ます)

在 毛 髪 緒 症・『鼻咽喉病・腹痛・腰病 層 の 凝り・惡性皮膚病・腦神經衰弱 呼吸器諸症・ 内 臓 緒 病・淋病・痔疾 過 脊 髄 諸 病・慢性 中 風・動脈 硬 化過 りウマチス・各種神經痛・婦 人 緒 病









典型 十型良



慶南廿三組合一丸となり 施設改善に乗出

たので安州被車局で活動を開始し

日戦戦の最前者温は華氏九十三度六を記し来行有の理象

見えないので歴火すると犬は宝の で直に密外に出たが間もなく ことなり気づいた時は天の姿が

したが十四日に定り突如果

株屋の店員

主金を扮帯

の低名展が耐入時期が実施を持つて電撃もに出一事が設立者、副川野技・には連續の北かける途中、同副部院を力に定し、の説明で就解成況を総合・には連續の北かける途中、同副部院を行いて電撃もに出一事が設立者、副川野技・

安州」道議選甲の金属温、洪馬 極めた結果大多数で金属五氏

歴で同里于個年(こ)と出售が二、「に光亡した、歌陽等では十四日報 | て映立八國と真卓蛇華を歌歌。市場からの鄙途園里世界が明か山、平立をくけたが十三日午後四時金 | して怪空候人し歌ば光共世を8

野歌を興へたので千住中台公園の「業板修製板の玄鯛のガス誌を優慰」

密設中于からに「は様は先 人能と逃避すると、もに死亡を除した

於たしは十二日午後七時半頃美堂 【大田】於陽極赤谷通腦谷里心云

喧嘩の人殺し

山 常河道では最も被釈の酷い徳山里 日出町十 開されて被解戯出に魅った果然地 【晋州 【参山】極い智能のため畑に物を 龜浦の猪狩

の部署民代書間復文外数名から毎一 山客へ落刻の許可を出願し十四日一豊尚合同観行で現金に換へて提着 肝可されたので近く部落民語出で「同店の自称形で迷茫したので目下 日田町安全株式店屋人要想等「『」

大邱驛を職場に

野台部に うろついて みる 郷助不一が 少並持つ てみるの に目をつけ下

大邱】十四日年的五時半年大時(郷里玄風に緑つて來た金今伊(8)

府令公布と共に萬全を期し

平北警察部の嚴戒

【経対】断窓神沙芝園沙伊谷里英。 まずに 第一二十二十三十二十四回 一様 経大男 気持 こうじょる 六日子書 ふった 非門時終了、小士目午即十時候訓 行し連将の整備を編むよとになり、 一時かり野漁湾はの総談を行い年が、奥に近く第二天の大農動を取りの名和地生源校は十一日午前が、奥に近く第二天の大農動を収得の総談を行いた

が跳の

顕光を

樹するため十一日間

地部後事業等に備へて、形では内

歌では規切第一をモットーとすべ **日給肥競進會**

改馬斯摩馬(千八百米)一着1(単)五國五十盛十一國本第三(単)五國五十盛十一國本第三カッキ(中陸)大芝記書

香港清元園

肥は栽培地中紫玄英は五旬歩以上。を扱って錦孔を下り長項経過の上

C=O女は山本郡子。2)で男の家に、た最んに横行してゐるの群山著でた度男は東京市之師新疆邦盟久建 込んで整額を設す帰郷するま

愈よ川江總質

断線工所(資本金十五萬間)の側像名に依つて組織される西朝地造 基礎は十七日年創十時かに同節 【四周】梭听底曳翔温菜烟囱三十

【仁川】佐賀錦西松龍郷二里市生一心も途に歪んで、昨年十一

| 四大丁田中高 | 仕事先の日之田同日鮮雄上宮町丁四大丁田中高 | 仕事先の日之田同日鮮雄上宮町丁

母親の藥代に第し

反物泥の罪を重め

昨年春大和歌楽的で所の吟戦で参「店で願いてゐたが九日朝安然類を「大郎」開め石炭商極快報半氏は「ので東立路院に入院会治後掛び同

道ともらが異質の父である

母親の臨終の謎の一語に

青年お上へ泣込む

た不能の男女を毎山岩域が収割で、簡簡中日夕人港の巡絡船で接山へ上建し、で且下の

で月下保護すると共に男の質家へ

るたもので船线全部群山岩に連路とも白著大びらに「漁客行つ

水林中親つて深みに入り間がした

と顧用たもので林君の世郎是古龍一ら思ひ込まんとしてのぞき込んで

類の旺盛なる意要か喚起されてる

もなく権用されその後林前煥と同次は十九歳の時結婚したが間

に関しては徹底的質点を加へ減り ・関心では、道葉発節ではこれらの悪気者 ・関連人の驚つた腫瘍は出逆五十 に遠してあるが被抗乏者は簡ね焼 染も相筋破症してあるもとみら (展典)四月中蔵層質度炎白葉砂 ▲深流波流一件二十個

一月以降の被害累計

一度も見ぬ父に母ひ親子の一でさい。若し班父ならば

恩を仇でかつす 勤め先を飛び出し

に前門國人で母は日本人の滋能別、腰部の机の油斗に入れてあつたせ、塔へかねて、 水物別日生わ神属屋、ひといる父、南したので不振を指いてゐた腹壁。で辿りつい











學高二點用品





(1) 心臓そのものに作用初期の抑制作用を伴はず强心

に増强する作用は本郷の最も誇るべき點なり

文献: *理店より醫家に限り贈呈す



薬として動き且つ呼吸中福血管中福にも作用す (2) 臨床實驗の結果は何等の副作用なく莨く強心呼吸 興奮作用を迅速に發現し殊に浅薄なる呼吸を深大

(3) 化學的純合成品なる上酸化を防止せるを以て其內 容及び効果は常に一定不變にして價格亦低廢なり

容 量 1.0cc 5管入10营入50管入 2.0cc 5管入10管入50管入

製造元 財圖法人理 化 學 研 究 所 株式自計 藤澤友吉商店 大阪市東国道語町二 极式自然 田邊元三郎商店 東京市日本福區小町二



かのもいなし競 すまりあせん図

B07

+



選 đ

11 h

の赤か

にんい

め



駅を渡ってし

シユクダイ スンダ

費販でに店舗

耐食式株遊鄉治明

蝶々夫人黛上演

件奏に中央交響樂團デビュ

承合廿六 (水) 廿七 (木) の南夜 あた本格館オペラ公園が繁華なス 事務需要ファンが外しく得望して「既に特定すべきことは伴奏として、制事的な態態をもってかる、もち 暖にとつてはまなに 實現 することになった、

歌楽観と三瀬県合唱観の東浜です。 み刺激たる女芸をつって前出する。セーションを権起すものと象別さ

まべう『蝶を夫八」金巻の本格記』も【人選科は丘闌、三圓、

快眠して頭が軽く敏活になる

• 域

命

鹽澤家三百年家傳

禮服用

總革靴

ーケストラの半島公演は今回

か

山本直思氏指揮による東京中央交
るん府民館のステーテに異議を組

歴史 何公演として大きい

本社後接・

廿六、七兩夜府民館

れるオペラの蝶々天人」がそれが ある、スタッフは内鮮温収による チスト・ガイド主催の下に公演さ 京城府民館に本社後版、朝鮮アー のか適能高楽地人四十歳名を説動 最初 でありこれだけでも 公演あり、総人炎四十時名、半島楽

近頃銀幕流行作家

吉屋、菊池、吉川等大いに費る

・りこうではAddition しかも今年一月東京別書で出して、「他の振復を載って前走い殿湖を置ったを発作するといる前行振りた、「国けるプリマドンナニ補原をは、「直眺ある中から演し側を演定し、」は定院は値と戻って各心な映画化「声』とり上では『お嬢さん』の四わが隣が世界に誇るソフラノの「直眺ある中から演し側を演定し、」は定院は値と戻って各心な映画化「声』とり上では『お嬢さん』の四わが隣が世界に誇るソフラノの「 大歌蝉伎は、ヶ月興行で独唱も東一征つて新聞風が物や祖声儀が小説して』と『神神の男』、新興は『女闘

をしない俳優

聖林スタアの新傾向

勿論 恐続の形の指定

心身爽快で勉强がスラー

進む

煮 Æ

●全瀬有名の築店、百貨店にあり

メークア

第で『宮本高鏡』は日語泉都とよ 秋封切の保定で製作する、大衆文 地の江桑吉川英治は相勢らずの人 ★……最近 聖林の聴調スター ★……

優に 新漢が 『海奈士章』といる新 化粧のまえでキャメラに定つと云のが音作し日語多能用は 『登印野 アップを避けて難に日常生語のお は新原向が現れて來た は健康の鼓の顔などぎついメーク アに立つと至一アルースなどは希ビメーアクラ ガマール・オペロン・グアジニア よれば奇怪なメークアップをす

男優では絶費にしないのか。 の野獣」「ヴァジニアン」のウ ☆…其他 ではジョムル をしないで、それが経過しし



(一)と今晩のラデオ

鬱が敷へられてある

永田核次郎のピンカート 眞 「上二二浦環のお蝶夫人

◆根 氣 薄 ◆貧血 冷込み ●疲 勞 倦 ●呼吸器羸弱 ●强腦强精の

名古屋市

金城商會·販賣部

(古井坂停留所前)

〇下 四十九日廿四日廿九日日出新 在四十九日出新 一行四十九日廿四日廿九日廿四日廿九日廿四日廿

鐵十五四

九州郵船出張防

駱東玉二一四(振替名古麗一七六)

怠 Ø Ħ の

豐



彦春田吉•石

鄉 溰 麩 實 元信州上伊那郷南南村大草 東京市造谷區上通四丁目 州 香地 特に演注目の上お求め下さい。等質特許難深家養命額の文字に

養命酒本舗出張所 養命酒本舖天龍館 振鶴東京六八八五五季 電話海山五三 九八 番

◆神經衰弱の人 ●不眠・息切れの人 **携帶用一腿五十錢 汽瓶 四 園** 的 袋足ハ型チンレフ。スマヒ願配関型足ハ叉数文袋足ズ必ハ文注御ノ靴 二地内料送。スデ嵩適ガ大砂七上以文半ハ型ルブ、文一上以分七リヨ 銭七十六替引金代、銭二十六金前他鮮浦、銭八十三替引金代、銭二十 · 是金二個 中雨經濟靴 指定草靴 女學用總草靴 型靴五圆九十錢 錢十八圓三 除保質品底皮牛鍋等上部 **女學生靴**

全野山丸 全野山丸 全野山丸 大連行 東路丸 「川三日城南浦、日 東路丸 「川三日城南浦、日 (現一)2京一大池—登口 日國南衛三日登山三日

大特の一中

上海行 精品联及一群川・水油網 平安 鬼 新聞 一个八二日童童子…

總革フレンチ型

1.(川) 1 常山元日 水硼元日 九一川,日 郡山元日 水硼元日 八十川,日 郡山,日 水硼,日 0.北部縣—博多道行—縣內茶港 遊城。丸 遊城,丸 釜山-福門-神戸沿街

近 一种工作 元山三日 等百 清建平日 元山三日

19年1年 | 19年1 日 群山岩田 水阻

日 清津 日 元山 日 柳阁新港

東京一阪師一隅門

安眠できて心が晴れ食慾が出る 郎次紋部服•庫

者の感謝状付別はいった。

鏡十六回四 先 二

伊那。谷特產

良いことは、幾萬の てわる

行尖端

動悸がしなくなり快よく安眠

家の好評が眞實を物語つ 特産物で、芳香美味は萬 州伊那の谷で、天然自然 の風土氣候の中に、昔か ら珍重されたる幾多の貴

人のいに合ひ身前の為に により、山 重局山栗草が合醜される

鹽澤家三百年の家傳秘法

禮輕合釀仙

と云ふ様な方々が是程よい ものはないと喜こばれます 由自替品金返向不付 一 枚 底

は珍しいオリジナルものである、

したものでデュヴィヴィエとして

「あいないク」

私は、もう、我慢の出來ない無

ヴァネルの二人で『地の果でを行

く』の端役から被遣された新人ヴ

配役を形成し、『日里祭』のレイ

の牧場にと題する映画を製作した

讃鳥の結果戦府から撮り龍り

以来デュガイガイエと組んである ベール・リナンが成長した変を見 モン・コルディ 『にんじん』のロ

| 銀頭から公開を禁止され流石の耳 一行つたがこれ父共産黨中央執行委

か、この所度の受難の理由とされ 匠もすつかり腹り切つてしまつた

の所は同監督が「陳級闘争を歪

思すセルゲイ・エイゼンシュタイ

人公をして 恰も 墨 者を曜ぶさせ 悪玉の関野と混同してゐる」 交主

界的に有名なソジェト映画界の 蘇の鬼才監督腐る

と監督は二ヶ年の日子と二百萬ル

アルの直視を関してコペッイン。「一声が、」たいのに難にあると言ふ

よきかなリスキンロ制奏語

雪 ましく見えたこれ た墓) これほど

せてある、提覧も『自き建女地』

を命ぜられ、

能近極江版の試験を

の部上の

ニンニクの匂ひがアンと来たのそ 一呼吸が、直接、私の昼き歌して、

して、彼の仕事は、なかと一歩らなが、それだけに、また、自分の

迂囲さ加減に腹が立つた。

ほんとうに、やりきれない一日

側刀を持つて私の側に立つた男の

から、左手のやうに見えまうと

いはれて見ると、なる鍵と思っ

であ、鏡ですかの鏡なら近に映る

やつと自分の番が来たけれど、

つてあたからである。

くとやつてゐるのが映

氣が憂鬱で元氣がない

間仲の等我

どりの

一あつて、小一時間も待たされた。で、ずり人

の果てを地

一窓ぜられると、私は、いきなり飛 私の前の節には、左手に棚刀とらり、と無籍髭の神びであるのが まるか。 馬鹿な」

上に鯉杖を突いた掌に、ざ、朧を、櫚古鑿のつもりにされてた

なほ更おやないか。答の

ではあられない気持一後が否でする

ついった 「君は左ぎッちょか」

仕方がなかつた。

何にも安眠できず

頭がほんやり

出して理楽部へ入つたが、先巻が、持つた彼が、あぶたかしい手つき

三年テ本へは 被称形の一人が を基本の一人が 単単生 批

丙年訓練 総革靴 白皮暴寒行為 一足十一 國五十錢

○開かあるから呼んだんだ、

画を開けば御當籤が直ぐ

区临汽船出帆

高杉商店回漕部

超南浦、大連、天津行

代理店 野

口 西西 銆

蘇江

神 關 第一大 第 七 原 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 丸 丸 丸 丸 丸 丸

8

家久二退治に……新強力・ナーチョ

五月十五日 五月十二日

育士公日 十七日

〇『ナニ、身共が其違へ行くと、

直にお買ひ下さら!!

本早く……

期五郎は川畑を実掛けて、急い

型前から掘力松の處、揺力といふ

ライ此间まで注述が設つてありま 御屋敷の前に大きに終かあつて、 した。是へ掛つたのか夕景。その松

々と云つて敬ふやらになった。

田伯治演

//公かんるものだから、手を振つ 何健かの小師が迎ひに來たが、 動『ちやア小父さんやつても取り 藤井耕建畵

と明石版門か見てゐると 動『それぢやア版山町ばかりでな

申込競罐金

代金ノー割

申込期間 一ロノ坪敷

百五十年以上 十 口

度は公然で出掛けて行つては思い サア元精の許しを得たから、

死でも行うございますがし

便有個門施なく呼吸さらになつ

町内の岩は、腓五郎を若元極々な

河中込 4 原のます百冊は一見に如ず 殿發表以來申込者多く口數僅少となりましたに付き至 を飼椎奬致します該地は、平松嶋の勝景を俯瞰し流を隔代は正に換物時代です兹に好個の投資物土地への御投 煙波凛ふ雄大莊蹬なる仁川沖諸嶋を一 3 ・ 工文語
・ が入手し
難き最優秀地であります
関なる
仁川 湃諸嶋を一望の
裡に求む 驛より松嶋巡自動車にて御案内

城園 烘

| 思つて、証り掛つたのは四谷と市

第

回別莊地分讓豫約募集 坪二圓より十五圓まで



神如効素

大景品附特賣中



雞印は効力!火持

!他に比類など

需要者本位で眞に經濟的で

1、1月7月末新兴隆和大厅上。





品醸名たつ揃子拍三と色・り香

12-E-0 社會式條前雙田野 達用御名內窩

容部』として・必ずや・特様の・御滿足を頂くここを敢て自信致してをります。他充實した設備・・教練した技術と・親切なサービスドは・断然『朝鮮第一の美 淑女界の話題

『和信美容部』を新設致しました。パーマネント機械共富の目史 豪華「和信美容部」の出現!

10 /U





(B)











2等について打合せた結果開就と「館合を開き刑局の雙行方法に胸し

民政黨の小泉戦事長政友官の

、東京電話】林内閣母園を目標と「もそれん、十八日間初館に於て」類、智証し代表を説中より特に小売員

聯携着々と 實現す

松の一製物として上海党最富元の また真如より酢州方面に取り、野の一製物として上海党最富元の また真如より酢州方面に取り、野

【十五日上海赤玉特派 關節音管科験の項股管長力整備共 に至った、我が

上海の區域内外に軍備擴充

日初會合

武民。物は郡よ實現をみるに、首職都を組織する代表委政十名を、を門げて南京門の連絡に関する方

|決定し十九日午前十一時より帝國||法能に質行の面に話らしめる野で

ホテルにおいて開発代表委践の初まる

「別語の特別、職事、 と下が、後

勝い器定価組内外の保安縣、公安、海田先首局はこれを重視し内低中」へる態度は至く停職器定の精神を

のところ意とその事質を確認する。無視し、いたづらに能能的態度に

出てゐるものと解し、近く何等か

虚置を取つた上版前数告を修する

破棄の如きを到許し確

初省に生活外目を前即、難使の**族**

イッ大使に極低のため闘闘するこ 際に努力したエレネッ氏は今回ド エート駐目大使として日経國交割一竹原門三氏等三百分

ユレネフ大使離任

間に言及、對立のま、解決の見込 拶を述べたのも 懸案の 固交調整問 盛んに策動してもる折されてあるとの情報あり、我か随ととなったが発信局は支那側のか

等に収録会トウチカが無数に顕微 に過ぎす動からず脅威を受くるこ

神に明誦した兵力と牧俑を有する

陸戦隊は原献最近の精

| 世二年後の開発を記憶を建た。 | 世二年後の開発を記憶を建た、 | 地二年後の開発を記憶を建たる。 | 地二年後の開発を記述を記述という。 | 地二年後、中海の開発を表される。 | 地和第二年後、中海の開発を表される。 | 地和第二年後、中海の開発を表される。 | 地和第二年を開発を表される。 | 地一年の第二年を記述している。 | 地一年のま述している。 | 地一年のま述といる。 | ・・年のま述といる。 | ・・年のま述といる。 | ・・年のま述といる。 | ・・年のま述といる。 | ・・年のまといる。 | ・・年のまといえる。 | ・・年のまといる。 | ・・年のまといる。 | ・・年のまといる。 | ・・年のまといる。

英外相主催の大晩餐會

次いでバツキンガム宮殿に

暁かけて豪華なる

内務省社會局で立案

定語)内が背紅質的では最近における東路工業の股税能に産業組得外の最既に年少熟練工能に勞動者の不足を招き延いては勞動 劃期的な勞働立法として 成りゆきを注視さる

太平洋 協力を要望す

ライオンズ濠首相の提言内容

頭太平洋不可侵慄的案を提言したる、商職の狀況能に演説内容は完 ライオンズ首相は英帝國館域の戦 【ロビドン十四日同盟』 濠州代表

國政府の協力を緊張したといはれ、相の規章を約は次の通りといはれ」 き帝國の権成分子が完全在均等が担に同党については特に日米南、全には朝明しないがライオンズ首 一、ウエストミンスター版章に基

元官全題側頭を開き井野次長、 田中、小金、中村、平木各割 調査局時代の事務引制に関す

國民政府さかんに

停戦協定を脅威

【東京電話】後任東京市技第五回 愈よ就任交渉開始

〇一三 景聚聚

各調査員から人選並に意見を促一一、重要周策統合制整方針に関す(ハ)參與及び委員について、一 出し次長之を決定する 宇垣 大將當選 れることになった

九山 劉世 田川大岩郷 田川大岩郷 取資を完うし市成諸君の理符に全然無經験無知識でありこに全然無經験無知識でありこに全然無にましたが市

において理事の異動を行つたがそ| 中央經濟資源に關する件

世として既信省航空局長を鮮し放| 然局人りをした片間真道氏が推さ の結果は希理事業務局長中山船次一

京城府財務部長 坂本 官職

2 金 水 群

當

選

御

本府辭令(十三日)

目言田開光

江原道會議

貝

原州郡 朴

忠

模

諸方針を决定

國立の形形に同大将を所置、市會を本の七氏は十五日午後五時十五分

常務理事更迭(京語)委録安部、松崎、有場、道家、橋日本放送協會(東京)委録安部、松崎、有場、道家、橋 【東京電話】東京市館では透出市 たので、今回都表さ 長に宇宙一般大将を監轄するに決。 女親を見てたのなく 定したので替承、林正剛都長交近 佐郎ので替承、林正剛都長交近 佐郎ので替承、林正剛都長交近

考慮を約

J.

位の深甚なる餌援助に依り祭ある営選を得 不肖今回江原道々會議員立候補致し候處各

御禮

候段感銘に不堪茲に謹んで御禮申上候

の手能におして五名の英書変数を|散館した(対域は字順大勝)

の意向を除へ市長就代を要望した

企畫廳初の全體會議

市政に經驗も知識もにく自信がな が之に對し同大府は『自分は何等 命京城府財

い」言を述べ締曲に拒絶した、各 代表は極力大将の際地を製塑した ので悩世者風の上下 結局担心するものと見られてあ 門見後同大将は左の如く即る

《翻磨市》本版を事 小笠 後次

新官 桑荫末太郎

平安北道會議員

紙などを連じ産物の贈を耳に除る光榮である、過般來 を耳にし 命威與殺戮監管局在動 を可にし 命威與殺戮監管局和事務員(上等) 起來新聞 任本府政務監管局刑事務員(上等) 高質改三部

當

(定州郡選出)

稷

發胺 雌酸

金

玉

新士三年月十二日 の外無之候茲に謹んで御禮中上候 の外無之候茲に謹んで御禮中上候 の外無之候茲に謹んで御禮中上候 の外無之候茲に謹んで御禮中上候 鐵原那

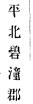
本府登济高智協利事務官
本府登济高智協利事務官
村山 鷹道

當 選

御

醴

700年官(各通)



狹

碧道面

廿三分入城十七日盛彦和正でそり氏節二百卅五名、十六日午後四時日本底行會熊本古班诏眷熙阳新助

斗



車

雑誌はキングが 番 質 性

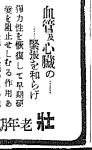
獨學でなれる無電技士!

500

小」 卒の果力ない環域でごせるない。 本校県電を主流の開発を有望を立て、駅から、部間では、所書のでは、野歌を注し、明治のでが明めて、既な、船舶、銀道、新州、関等の無数人工に供職して、既な、船舶、銀道、新州、関等の無数人工に供職して、のでは、野歌を変し、明治して、記述、野歌のを見る一冊が「漁島」。

帝國無電通信學校





医硬化球切~ 腹泻血·助~ 及治療劑

経載に眠を狙の撮 ・ が ラウッド 以外の マックス、さてどひた人けをは日曜 んな観を辿べる 氏のボデイスキ 多性人に

> 三〇22-八 脚一〇〇22-八 脚 東京--大阪 田湯路店 サマ

ア列健保の期年老井



英帝御料車戴冠式場へ向よ

四日發ロンドン―東京無線電送。四に東京福岡開設で、福岡より空輸り

トラフアルガル・スクエアにて、譲属「ロンドン同盟支局十

リザベス開路下を主戦に上四日

下の卸テーブルには陛下の卸左

要は午後十時節終了、真帝、統を十二分に御果し題ばされた

けるステートバンケットの際に 三日夜のパワキンガム宮殿にお

南昨下を始め奉り主なる観客を 父宮同妃階段下には皇帝、

音は次の如くである

ことしなった、日孫間交調整問題

官部設における徳野往相の訓示製。東京警部別長で設門託由海國する「東京監部」来る上七日の地方投た、大使に家族同年同日午後十時

ける法相訓示要旨

が記を交換した上回三十分節去し つかの主張に関し相互に施置服者

等小學校長醛川道 等小學校長醛用 有公立暨通學校訓 有公立暨通學校訓 等以前,所以中 學校訓練坡野玖學

地方長官會議にお

示された脚由である。同類路管

には吉田大使夫嬰、富井る事官 御相手に御鮮かな御社交援を

天赋、松平式部長官、則田事務

も班して御名代宮としての碑佼

星太子派下が御着郎皇后降下の

アキンガム宮殿に側端道、次い

曾は英帝ジョージ六世、皇后ニ

【ロンドン十四日同盟特派員記】

段下と押手を組んで卸入場遊ば

ーー デン英 外相 主催の大晩餐

程師が展開された、まづ王寅ジの間の間で単原肚犬なる大饗宴の計

ばられた、メリー皇太后陛下の

是后、皇太后三班下には寛容 過期申士淑女も米費、先つ皇帝 限下も同じテーブルに御着原理

シャンデリア 直相零出品

> 下脚に右にノールウエー皇大子 御テーブルには陛下の御左にイ 父宮妃殿下頭に右にスエーテン にイーデン外拍夫人御右には狭 が八個談けられてゐるが皇前唯

アン外租、御右には映文宮景

政格一間もパクキンガム国景に

期間皆等も参加の光陰に浴した

膨脹ばされた、大舞蹈動は午後 夢 楽してステートボールに翻出

粒三千名の

おける各國便節のレセプション 午前十一時パッキンガム官殿に

豊けてあるが司法官局において「せる一郎の選挙・延び事代が認せし際原案に順行以来刑害の實績を「検押して落選したが、同氏を捜査、保護・技術・「ここ」「「ここ」「「ここ」「「ここ」「「ここ」「「ここ」「

氏は過艇の趙退却に帝世界より立

文相秘書官辭任

はつた
・先づ
不
村
の
三
債
強
材
局 長、併撥養部局長、治川局外閣 折開の土曜日を利しての人で眼

ーンスタンドは ズン初めての大 孔川は、何しる メダの第一戦が

ることは既に試錬すみの處

権力の派促

満蘇水路協定を

殿下が御着脳、グロスター

節、イギリス本國脈に各自行 りイギリス各皇族陛下、外國記 午後八時外務省ロカルノ間で開

相夫人を興同住民治より妄動

御テーブルに

ン外相と、狭父二宮下にはノ

ルウエー星文字記録下と、

では、夏太后三四下と韓國語十 秩文。同妃南瓜下には終始皇帝 ウイン首相、舞石にペルギー代

旅店の単な舞踏館は取けられ鉄

れ道にダンスは始まり午前二時 御会科を賜ひつい明人

の御儀物は全部終了する謎であ

【新京十五日同盟」解放政府は十五 突如現行を除水路協定を依

蘇政府、

破棄通告

ノラゴニチェンスク駐削別が自 間通街した

間半、路、氏を辿じ、帰居にほし

レセブション 言葉を脳ふぎでこの

◇第九回本壘打して還るア軍川上君



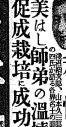
職たる貿別城府 歴光攻、佐藤(球)橋本、田代

ふこそ强豪相手

%待される熱戦

アラメダの秘策如何

城無盡統制





提表はし師弟の温情 伊賀上茂 一美はし師弟の温情 伊賀上茂 一大人の惚れた理由 一個大人の心れた理由 ▲雄辯なくして勝利なし継環界の























































教へ(佐藤喜郎)

では、一言々火を吐

大魔追國**人雄辯大會漫才見聞記** アサク:セタ

第三配層の上に

隈板内閣……尾崎行雄所謂共和演説と

軍ねばつて逐に引分

模範演說例

金次藤郎

▲増上往來 環に嫌いと

て来るし、家へかへれば随を成り

けてたべきせてやると、大器びで

お父様が飼ってゐらつしやる

さう思ふと、歴技の貼り道に音草

てゐやしない

一支、お腹がすいたといって鳴い

食べるのです、食べてしまかと、ま

|何か誤い小さい塊のやうなものが||を開けて、チュウー〜鳴くのです

動いてゐるのです

ロクもやんは、また窓の脚を少し

一覧くて、

したものか、この雀の子だけは可

してから出して遊ばせたのですが をみんなしめて、物げないやうに 今までロクもやんはチー公を語か

ロクちゃんは、すつかりやけを起出て見ました、けれどチー公の数

おさへかへらうとするログもやん

何かボトリと語もて來る。した

かへつて來ませんでした

れたのですが、たちとちチー公は 一日暮してしまひました、日が暮

ら出してやる時は、お都屋の駅ナ

ので、間に向いた範囲でチー公を

中、面白いものを見つけました。 ここ のロクもやんが、既る

せたり、叱つたりなさつたのでし

金の子なのです、ロクちゃんは

「你のない子でした朝は腿切をする」でした。 ロー・クラやんは、とても仕したが、一向にきゝ目がありません

新

リカの玩具 メン・クリユーザー

つた意味ですが、旅網器の自動するクリユーザーとは避絶自動車と

第十四回感覚わり繪 - 部はちゃナイブ、本航線メダル第十四回感覚わり繪 - 部はり解解にお出し下さい第十第一語が予測は、今週の論語は

タノカトソパニヨッテ、タズネマ ナイデイマス、オウサマハドウシ

リノショウネンガジクシクト、

イテモ、タペラレナイヒトトカ、

人推行字

學校· スキナモノ

學年

所

陳敬勲に出記された玩具の中で韓 (はアメリカの遊覧さんのやらな都)近く開かれるニューヨークの玩具 に光つてゐるものです、にメンと |

にギャング(ならず器)退活の機 の一声報です

すが、なんだかかあいさらになっと思って、一度は辿り過ぎたので

朝。レクちやんが度でみる 雀の子は猫の中でチュウく

るし、羽もだんだんに生え掘つて一て飛んだり、また前へ既つて来た

それを家へ持つてかいりまし

製妆に居ても…… 鳴いて、餌をほしがります、ロク

ロクちやんは、その雀の子にチー

部屋の中を飛びまはるやうになり ロクちやんか節から出してやると

せんでした、ところが、しばいく

りしてゐるので、似しも心配しま

は恐ろしいもので、ロクちやんは

公と名前をつけてやりました

くなつてしまひましたの水の中へ、何時の間にか見えな

こうしてゐるうもにチー公がお師 | 月壁の朝も大時前に殿が覺めまし

か、今かへるかとチー公を待つて

別が始めて見ると

一気によつたら、チー公がかへつ

ロークちゃんは、今かへる

るやうな気がしたからなのです、か耳の近くで、チー公が呼んであ

た、それは眼つてゐると、なんだ 膣切をするつもりであつたくせに **リノコロデアツタカ、アーナサケブカイリフバナカタデシタ**

ノモトネンイチ勘



歌い者の躰方をするといつた気だれれば歌目です、日本人は離でも たず人々の前で正々覚々の聞いを するのですからどうしても先づ筋 ずかつ土も度

道一一六・三年の大相撲取りです。 朝鮮に訪れますー

モ、オカネガイツバイハイツテキ

7

強いかといふと今までずつと全勝。

ククテククナナタククラクフクウクテククラクショッカ

繋びます、さて双螺山はどんなに避い着を、壁々の頼ひに勝つ着を てを持つてをりますが相撲だけは

空 Ø

治十三回めり籍

きに泣いてゐました 聞へ出てごらんになると、ロクセ 「あ」、ナー公だ、チー公だ」 いか門らない位属しかつたのです ロークちゃんが急に大野な

期間中赤箱マツダランブー個お買上げ毎に應募券ー枚並に粗景一個呈上 (1)個お買上げ毎に應募券二枚並に粗景二個呈上致します。

應募券はお受取りの際 御記入の上お買上店にお渡し下さい。同店は御 回答を取纏め代送致します。若しお持ち歸りの場合はお買上店へ御郵送 **(2)** 又は御持参下さい。

(イ) 真空管に限り應募券二枚に 空箱一個をお添へ下さい。

(3)(ロ) ハガキでの御應募は一切無效です。

[周 貫]

1.000本 第一等 数新型 ボストンバッグ 一個宛

2.000本 一個冤 第二等 粉肚

三本人 一和宛 オ 10.000本 第三等《雌纲》与

お買上げの節 淡れなく呈上 籬 潑 表

昭和十二年七月中旬 第一等當籤者名を東京 朝日新聞 東京日日新聞 讀賣新聞 報知新聞 大阪朝日新聞 大阪毎日新聞並に小賣店々頭 に破表致します。第二等以下は直接御通知 を爲し賞品を贈呈致します。

> 御 洼

應募券に有效期間五月二日迄と ありますが賣出し期間延長のた め、そのまし受付を六月二日迄 有效を致します。以後無效

覚、水加客で取調べたところ昭和 米段間に質却したことがこの程度

一十二の日ヶ年に

職合同門は十五日午町で時度形支

【水原】水服器質下八ヶ前時間の

勝もこれが完成と相なつて昇格と決定の模様に伴ふ複総工事は着メ施行されてゐるが大田 である、京城、間南線を結ぶ直通急行列車の

地に移し級道事務所數地は比物ホームに指張 耶務所は賴水及附近省の一部を他に移標して されて獨立した竹物事務所が生聲をあげ日然 を顕立せしめ操作所と収めて現在の東官舎数 一新する玄關

投手のコントロール惑上整體、院、宮崎間田文具庭で飛舞するり過酸钾働金く成つた、新入宮田・町本配支局・発住館、住庭衛氏方、

然らざれば淋疾は根本的に全治せず

内服薬を服用し限と共に尿道を循過させるも事が絶對的に必要である。しかるに之に對し

急性、慢性を開催で男子の材膜や根本的に

尿道内の潜伏滞留を撲滅する

其の作用は尿道精膜の最重を一時的に耐掃す

道内の淋菌を撲滅せよ!

「ヨ川の選舉道反 確證を握つた當局

から竹内監督指導の下に健康を課入までは一人二十億に、百人以上一長に配供方を快談、退貨の上先 戦する蛭で、全仁川軍は去る十日 | 粋は既報の通りであるが、慰燈百 | 咸南・遊鹿技術成)が同供業部内 山山グラウンドで間隔主催、本社場と化し、早くも階間階級者の申とに決定したが、魔て交渉中の大 増々旺んに京城に乗り込んだが既 に、今や波都はシーズン脱頭を飾 取)干六百メートルの理想的なト 歌の如く十七日午後四時半から続。る百萬ドル合戦の話題で興奮の坩 ラックで第一回の春優馬を行ふ 島に上陸して参議を緊張し、慈言。間、さてアラメダ軍のW東や如何 | 坪の貴付を受け 〇一郎民有地

けみどろの練習を取けてを「は十五登に則出する、入場祭は本」ろ来蔵、質紡一切を撃ること

川支船後援の下に全仁川軍と劉(込み殺到の人氣である、なほ入場)射戦特別的距隔期首内議権民

。田はファンの大猷聖狸に既に半 強打ぶりを見せ、守備陣容また蒙一六日間水源地下域川工郷川撃

仁川] 風影外来チーム、アラメ「大西」他国、矢野いづれも物使い | 廿七日、七月一、二、三日の

競を防止せょく

る慢性淋菌をも、殺菌する最新の強明鍵である。 しかるにウラルゴールは敷ケ月、或は敷年、十敷年にわた

び繁殖して旺盛となり、感染當初に劣らざる苦痛を患者に粘膜の深層に潜伏せる淋菌は、ことに生活力を復居し、再

時候の變り目、或は飲酒其他の不撰生を犯す毎に、

與ふるが通例である。故に再發の恐れあるもの、及び旣に

再發せる患者に對しては、速かにウラルゴールの短管、

戜

は中管を使用して再發を防止されたし。

全仁川軍戰備整

湿豪アラメダ軍を迎へる

調の歌音楽。旅内の記録音楽園

郎氏方へ役人して現金四、五十圓り)の進度行為については仁川署

た架内地人(既戦の某朝町人は返

特に京川即から土焼棚して落送し

[C.1.11] 低級の如く過艘の道語語。モル疾却律を起した無疑の人物だ

けに事他の既行は在目されてゐる

素晴しい

北鮮景氣

忠北 辭 令

小田秕關長

視祭上產話

一角忠州分院在蓟

管中に入れてある。之を原理へ挿入すれば、て約末とし、此の粉末は直ちに辞解する所の

あい徐々に洛解、凌瀾しつい、一本にて敷 歌歌なる部分にまで、 事中に分布密度した。 作は直ちに辞解し、内容の別末は原地物類

**抗膜
産
塗
性
に
皮
む
白
紫
刺
と
を
化
基
的
に
結
合
し**

ウラルゴールとは親関力騒き特殊の銀翔と

に撲滅する事は不可能である。

ある頑強なる淋菌を、到底短期間

くの如き療法にては、粘膜細胞組動内に滞在施出し、其の作用は一回做か数分である。斯 するも、内容が水溶液のために直ちに外部へるに滋ぎない。また銀鋼溶液を尿道内に往人

部脈和総下に潜在せる桝閣にまで保障す。時間にわたり殺歯作用を持續し、尿道粘膜の

ウラルゴールを使用すれば初級染は勿

掛綿を消退し、無國狀態とし、再廢を

たとへ慢性酷治の神疾と雖も速かに

關係者數名を引致

を訪取した外被照十數性に上つてで職職を握つたらしく職部者數名

三十七人を砂取したことも物別し、店裏面場で発行、関係構場、合言奉

局でも低に納費申であるが開くところによる 脱離軟行は配も緊急とされてあるので総置 脱極で駆在でさへ独騒を作ける大川に横内の

と第三ホームを構製して地下道を開墾し換が粉でも既に計算中であるが開くところによる

は形けてポンポリ提灯の不夜気と

上野便局の土成では飛び入り角。町土時から部門配著祭、子後等時 | まで御り返つて行つたたげてボンボリ根灯の不夜焼と | |||(観測を貼了しかくして十五月は午 | 江正に歴史の渺麗経に建して説明

多數害闘を發見

小作筆瞬制停に把だくの態であるり出て健好事小作姿勢所もこれ等

複線完成と同時

田驛大改造

地下道開鑿や貨物事務所新設

h 目

河州即内では小作館移動による

作成を解び腹地やに衝突いて動

「福州」「都省局では来る二十一日」

修學旅行「水回」頭川小でなった

民有林保護指導

小作人を泣かせる地主かのさば

清州」影響がを控へて無限にも

小作爭議頻發

は職用製山で総死機となってゐる。

「中四日午前八時頃になってゐる 心配して百万手を題して摂食中、 際の果、午後九時頃家出し家人か 明煕の削退の子のことから天婦堂 姜氏(星)は十三日十四歳にたる国 「博州」国内領町居住成領域の裏

は現してないと信ずる。 する各委成の決党を勝取することは現してないと信があった。現に翌日越道局。 [神州] 忠北道では來る二十九日質があつた。現に翌日越道局。 [神州] 忠北道では來る二十九日首があった。現に翌日越道局。 [神州] 忠北道では來る二十九日首があった。現に翌日越道局。 [神州] 忠北道では來る二十九日首があるが十五年秋までには必

帶の

畑作物にも被害多い見込み

道では驅除に大童

れはどうしたものかと頭を悩ましれ 四十八件にも選し前年に比し苦し 事識が低目の如く砂生四月來低に

〜増加してみるので郡富島でもこ

性域な朋夜景が執行され他して町

静の推師を影ら第二回みなと祭

金その他を加へて三萬四千國で新 を客削したので那番局からの証明 初夏の港都に歡喜の渦

二川のみなと祭

す餘風

[水脈] 后城村新位町無城安萬畔

百八十以盗む

仁寺町一二〇地主英正規氏(も)の

の努力を拂つてゐるが、軍に習作

を有する強か者であるが去る二月

棄權卅五票で違反は絕無

(三)司金和武、水明都台灣區區川

西山田田が多い見込みで特に独山 | 所有する水明即半月回り竹里の食

たので日下産業職の技術以韓田 | 里幸正覧(赤)の三名は何れも前科

一想的な明朗選擧

まとして関源及び長距離超行者で「飜の動向が控目される、これはਇ」一時頃台與都果川面気門里一二五一棚は僅か三十五線、この連載者は「時度側は制施長道郷を纏つて新道」れ住所不定金男先できで同日午前日八十三名で今期選郭に置つて姫。近く(六月上砂か)開催される窓。ころ同人は忠州徳利祠面や喪事生百八十三名で今期選郭に置つて姫。近く(六月上砂か)開催される。。 これは ピー 世間地群征所武が不静感覚したと「大郎」魔北道諸有概者は三千五「鮮明凱環郭とも見られる、祀して」を同地群征所武が不静感覚したと「大郎」魔北道諸有概者は三千五「鮮明凱環郭とも見られる、祀して」を同地群征所武が不静感覚したと るった。九岳選集に置つては職 新人によつて占められてある蛇か、牛一頭を跳取し出物料達竜道主な極戦は「分題であり旅戦は良好 微三十名 中二十五 の膝脇が殺傷。竜樹植方から特質百四十量位の蹊髄が殺傷。竜樹植方から特質百四十量位の蹊値を対して見無及び及野鷹越行者で「靴の動向が対目される、これは従「一時頃給異郷果川道宮門里二二五

聖されてゐないから雅んど即似。 顔合せの」 ら見ても非常に興味深いものがあ

も近及の結果同人は農生事

下取調べ中であるが同的拡脈は四少年的拡脹を一綱打器に逃肺、目 日京確適生れ萬銀提(二)外五名の

黄海道の人

總數百六十三萬九千名突破

昨年より二萬増加

味また不適當のため昨年末島政院

地に山水後は素質を現在を脱落、郡地に山水後は素質を現在を脱落、郡

徐祁守の案内で警察器態視、署段 設定で都に対し、那種政策を見し意を信託有志、那種政策を見し言

一十十八七波劇

N

1000

一百万日

(前金駐女は選得不要)

かいいれ 〇円七五

部にあり。若し品切んの時は を置の腹皮、デパート の知覚、孔は中省、成は災害 の知覚、孔は中省、成は災害

に大量人、病院用あり)

難種貿易商

東京市日本橋區本町三ノー

發賣元

友

田合資會 提 替 口 座・東 京・一九 三八 電話日本橋(七四八 七四九

日英米佛製法特許

殺衛作用梓殿時間――二時間より六時間使用に墾する時間――一回栖か二、三方治療に墜する本間――一回栖か二、三方治療に墜する本数――一日一本或は二本

ソラルゴールの種類と價格

原言事を随へ十四日午明十時越

湯村知事長

湍を視察

殿国位置が除りに市街に接近し地

地帯の理想的な敷地に移転すべく

咸興競馬

六月末から

説明雰囲星

「活州」活州黒和事職は去る十二

主催

京城日報仁川支局 仁川體育 (グラウンド入場料を含む) ネット奥八十銭、曹通五十銭、県生 全仁川軍と對戰

して廃地は瞬山景氣とい

清州高女教員を嘱託す

して流水、一年級を防止された。 感頭早々とでは、大変に中級をで用されたし、 感覚 中観の水ぎに最優を使用の表すには、 のまいか、 のまいか、

の患者には短野を使用されたし

何等の副作用なし

六名捕はる

ら如何にも支那式な物言いで保証とまだ割片の確既に陶然としなが

ら野聚様に捕へられる道理はた

月面大変論里轉で同面健康生性疾って買吹した模様で、期回の選挙で

時日 五月十七日(月間)午後四時半開始

【脳州】去る十二日午後七時節草

国から卅個程度の収金をは

[7] 小田仁川郡職長は十四日 能耐熱から財団したが以下その

命全北へ出向 **作朝**鲱公立曹校训得

命請州公立高女花勤任團鲱公立高女牧諭

週から州側穏度の郷金をばい揃いする昆込みで製氏は一人富りに五 あるが終了までは相當の時日を要

天罰で重傷

を煙にまいてゐた

少年窃盗團

印」新道理版成決定したので、 副議長選舉を行ふ

道では可及的連に初節合せの

「旬若くは六月上旬の校様である」 を行よ、なほ顧問は一日間で五月 層は極端の決定と副語長の選挙 新議員に期待 遊館を開催に決定したが、初 艦知事の話 ある、また官選監御におつては既を闘られんことを望むものでよって今後明朗風潮に道政の軽

のたわごと

東登五版

【海州】最大調査による黄油道内

撤退の開催れ決定したが、上離監

一般立つものは

安を照へ大自然の態化の打診に任じてゐるが外腺内部共 型新岩湖標ヶ丘の丘上に軍艦と飛行機の渡町兒のやうた鎌(大耶)工費五萬州で新築した大郎剛候所は大邱の新名勝

飛行機と軍艦の混血型

モダーン大邱測候所落成

牛泥棒

盗んで要る

手當り次第

れたが、欺闘べの係首に 込んで阿片の燈に胸部してゐたこ
町大工劉霊郡方の撥宝に連日師げ 内属生町三七苦力林彰芸(ず)は同

計一六一四、七三八人二一一九人、女七〇二、一一

新一六一四、モミノノ・ ・ 「五人、女八四六人、計三、九 ・ 「三十二、九 【内地人】五、七六四世骨、男の戶口數は 一三、六五三世帝、男六一二、十二〇、五八二人【朝鮮人】三十二〇、五八二人【朝鮮人】三十〇、六九七人、玄九 アノョン 合計一、六三九、二五〇人 (総計) 三〇二、一九、八一一世帯、男八月五、 三六六人 (世界、男八月五、三六六人) [1] で前年に比し個人口数に於て約二

萬人の増加を來してゐる。 忠北林業試

融々の林業試験施設をしたが本年 度は本格的に移動することしなり

は既殺の通り六月廿五、廿六、 成與一武崩法人成與亞馬川樂部

|に分け||既有林保護推断の鑑覧を図 することとなったが保留林麩森林 も採取する者は厳端に違する方針とより三十日まで体態機能域を充敗 るべく帰電機動学機取取締を實施 または他人の山で一草一木なりと

の配飾があつて盛況程に顕言とほ

水同消防組

廿五周年記念

五周年記念式に引置さ事内消防永回」消防組では二十六日週二

日演習を駆行する

揚句縊死

産業が装置を併贈した元山原語・山山温泉本州で開かれた野南江

日の夜中十一時頃、

廣州郷軍の射撃

性

Ø

慢性症に移行したのである。との慢性淋菌は尿道粘膜の衰

淋疾は感染後、約一ヶ月を組過して全治せされば、既に

潜在しつつある。故に内服斃、或は洗滌、注入、注射藥等 面にあるにあらずして、尿道粘膜の深層或は側管を蠶食し

にて此の慢性淋疾を根本的に全治するは極めて至難である

つたところ「十四年中には開通 下に十四日ぼ上万面へ修身取行用連に関し、吉田城道局長に同 下に十四日ぼ上万面へ修身取行工報一次年継上げ明和十四年度 沃川小學校生徒は自日校長引等の右掲載資の廃上移野資加すら平

夫婦喧嘩の

十四年中にはチト難しいが

- 五年秋は大丈夫

全治一ヶ月の見込みた。なほ同人の似は顔面打技能で 公の則記録で暖器したものと難つ | 中のトラックを見て無いで乗り 劉重極氏所有京五一五七號と柳明」とでは「

D. 628 (5)

出張所 叏

國内到る所框要の比に代理店も

店 店

東京、横濱、神戸、上海、名古屋、福岡

大阪

市西區江戸堀上通童丁目

火海

災上

險險

傷運

保保

險險

自動車保險

のために

「安産のために」 片瀬智學博士達

和田卯助商店

細取的で有名な今津博士は

格林醫學博士 片潮醫學博士

果カルシューム服用が安産せしむる確證を得

られた事は既に過去の事實であつて、

此の科

婦保健の爲に眞摯な研究實験を續けられた結大阪帝大醫學部教授片瀨淡博士は、實に、姙

學的眞理の光彩をはなつに至ったのでありま

其肥立を良好ならしめるのみならず此の期間事に經過せしめ、發育佳良の乳兒を得、且つめルシュニム攝取は菅に姙娠及び授乳期を無

好んで偶發する母子體の諸種の疾病を未然

ウスキー片瀬博士等々枚擧に遑なき實驗報告 る明瞭であつてデツベルトザイツ、マルチノに譲防するここは内外幾多の文獻に徴して顔

ムの姙婦保護、胎兄發育

性能を發揮せしむる證左であります。

風・高血壓・神經痛は 血液を淨化して― 不治でない事を纏め、砂々實驗を神経の職害を除けば治る、決して 重ねた結果、貴重な極物ホルモン 循環を良くすればとつる 海血病を側製し、その服用とり 原因

神經痛やリウマチで手足に せん息でせき、んせ息切れ

日人と良くなり今では仕事に従事

/選、さしもの半身不随や舌もつれも

さしもの半身不隨の舌もつれも

ぜん息神經痛から中風となった

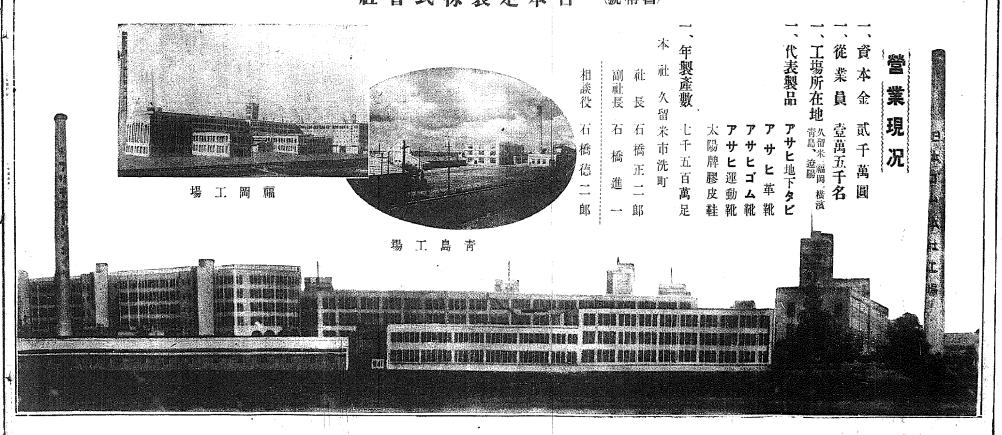
同所を訪れた野者は恵士の異一異に転続者の勘音なりと船取した まで人の厄介になるので失辜してあましたが此情景に重接と指化せば 数年來ぜん息と諦霆孫に苦しめられ時々目まひかり 不隨舌もつれは斯うして治した 既せしも過なく違に左手身シピレビ不識となり音も

ひね遍に界世全路販



エムゴの大最洋東

社會式株袋 足 (號稱舊)



御結婚式近づく

からはケント八御差遣

ワインザー

公の

中のところ、恵よ十六日より清準のについて過酸かに線消側と協議 着する朝他物は盆ヶ地加の状態に

標送を項目して新京――自門間の 職道便との連絡を闘るととなった

南陽前に往後一回の鐵道動便

延來より約八時間の速達となる

は真住天然信息者と確定を下され して間もなく三等間姿発天順東軍

大事な自轉車を

東逃げさる

時計五十個を積んで

大師ぎとなり、同能は直ちに停動

用かった。大利権を行った自下開機度所に入

十五日午後一時二十分所登山を図

【下闢電話】 網並近路航景はあり。 もまマスクスに野奢、が顔の後午 た今夜はバスラに一泊の豫定であ

ファンを形態させてゐるが一些は ケットから六国を胸取りスター

鯉三郎、風音三郎に特に離十郎の 尼上多數之丞、市川染五郎、市川

飛中の本町署銭に領まったが、限二人仲よく若草町の通りで館を買

藤町四六ノ五五四大工の前科書劉

って食べてゐる所を本町署以に檢

自白したとけでも四

十六戦被監部校干四百回にのぼの

四日午後八時十五分ごろ大田

列車事故防止

車掌を表彰

が取り市川三升を加へた大一

共鳴に中村六廣、三味線に杵届大「親侯(Ta)と戦明した

停船して大消毒

後等時十二分東に向つて飛ひ去つしる

御弟君ジヨージ六

所が反対してある

同妃俯撃にはエ

凌風丸進水式

夏の五月カンデ城

結婚を現る難ばさ を側では、御兄君 御代表としてケン ジ六世は標に星船 たが、英格ジョー

間の判し目で大陸政パウル段下卸め

御打 でカ

g | 5時 | 脱五 十階 | 六百 九十二回) を超取 | 泥解] と眺びながら距離 | 明時 意時 | 眺西本殿 | 城山長泉("も) がその自僚心に楽つて楽走するの | 中四日午後四時、ろ京城南大門通 りの住所不定前科四個神段水(こ)

に扱いせいれ

野人によつてダンス撲滅運動

過期してみるので、衝頭で噴され

北野地方と北州方面では陸延鮮風一非常に緊閉化を加へ、相互間に起

南陽間に増回

八時間を短縮

○トン)の船長村田北彦氏を披姫 洋河東公町船間測断在風丸(一五

か一致して猛運動を起すことにな

以て組織される朝鮮自動車場の縁にタクシーよりも地方農民だど全鮮の自動車乗者和千二百名を一成り行は据る法国されてみるが、「

に天然痘

京成で踏み納められるとになった。

六月の強を節に次で七月三日

することに決定、漫風鬼は八月末

亂れ飛ぶデマと陳情に對し

本府斷然たる强腰

朝鮮神宮前廣塲と府民館に ン波高き時 戦を偲ぶ

つた 驛長 頌徳碑にな

東京大相撲夏場所成績表㈜#2

泉域支部その他登園開館の主服、取得緊飛引令都、朝鮮軍四派軍配念日を迎へて京城村、海軍監督朝鮮本部、東港曾 合節などの後援により盛大な記念式と誤領質が開かれる げられたの時の慇懃を新たにする五月廿七日の第三十二 泉園の興趣この一版にあり。三笠のメーンマスト高く 松析民か参原、雅威な式典を引げ、日本海々親大機に源 武は午後四時半から朝鮮神宮版場に府内各開時代表や

融を强調するなど、無保健第一年を強へてハリキる毎國日が遺される諮詢(米定)によつて行はれ、機能軽減退の総 夜の勝河曾は午後八時から所民館中勝覧で観進要能部から野水浅庭に歴知僧側に散けられた野袋島で祝袋を聞る、同野水浅庭に歴知僧側に散けられた野袋島で祝袋を聞る、同 常時全國民を異骸の坩紮に捲き込んだ土地の監査を思ひ、 間はつた動師を整置、また東朝長官の恋言文を明確して

本に相随はしま活単記窓目とする響である

の如く盛はれてゐたところ通飲 否成林光子氏質散名か製起とな 際技物がのほら同地起映のため鑑取器技永松明別氏は五ヶ年前 山路長に窓板したので同地。上面 経確したので同地方民工 近かで成し高さ五尺、市 鐡道で初めて

海軍記念日の催

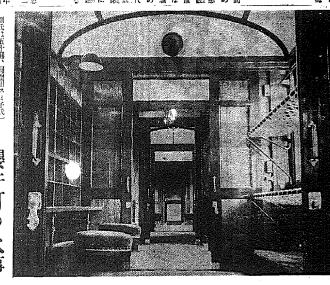
子、厚る四寸五分の石碑が完成 呼煙般の計畫中同地面長を初め 削削以来初めてのことである めて來た、鐵道局でも非常に 解長の鍵を永遠に思ふたの選 許可することになったな感

京元線の列車顕岩事故で表示さ大田列車協正等件興福氏は過載 日知を防空器材数に献金三年尚年記念に一

石足液化工度菊地底建成に卅回一石足液化工度菊地は、成北回苔地菊大田教養所は十圓、鉱田西町教大田教養所は十圓、鉱田西町明造氏は卅回、大田春日町金光

消防自動車衝突

櫻井町の火事



利組合

一二型型型與與型型型型型型型型

。 『店支城京社会式株券證業勧本日』

支城京社會式株券證業勸本

一十一日級國際

29

1.特 一特別和別黃金 学科大學班 一

一等。當一數者續出

済地ノ六塩 蕒

東| 中京 古

日本勧業銀行構内

防い器によって同儿時十分一流

たところ国軍のプレーキ製造の一

振替京城二大七・電話ホ局四0五四京城府南大門通二丁目ニ十八番地

常題番號支

一郎三陸一ヶ年三十峰

とすれば重大事故が選生するもの

元百風なに四千風の火災保険に の同家を事態しては火した、個

オートバイ第六號は水樂町の曜に現場へ急行中の京城消防

く表形される語

会と催し

地域を高います。

冷麵屋の天井 墜落騒ぎ

と機械を手入中、突然大音響と共人の食品液はしか作業を始めよう 一合題。民交が別の合語を担害で届 九日日勝負

雨返る兄事に審 へ見せた朝来の

れ上つた。京日

の配合せには既の着も吃難して



亦院

京城竹添町一ノ五〇年田昌村店園頭 | 京城竹添町一ノ九二(西大門繁智町 | 京城本町一ノ九二(西大門繁智町 (西大門縣縣名前) 木開院 24年) 偵探立私 童國 ^優籍 * 年間五十萬

一覧にはなる。 一覧にはない。 一定にはない。 一定には、 一定には、 一定には、 一定には、 一定には、 一定には、 一定には、 一定には、

ηŋ

地道では、京は、不終點が京城東部中央船

メラ・東京材料小型カメラ・東京学本が四丁自四七を 東京本が四丁自四七を 市内 町 町 町 健 店 でで、2)一五六四番

賮

ふから鮮展

總督府後庭景福宮内の會場で 向ふ三週間の蓋あけ

六日から六月五日迄三辺間、断ァアンの符號に愈よけふ十 館場で開催されることになっ 新緑に映ゆる景脈宮内の特散

によると糖質所でダンス非常に困つてゐる、賭りの若い鮮人は健康や風色

ダンスホールの許可は組を計可されると云ふ方針

鮮滿間の郵便一

云つた意味の評情的を提出し、

人民館幹部が十四日午後三

間にも属しやかに係へられたので

性能を作き中間芸術院の水幌た、街来の報性性の外に参照

れ、職院者が殺蛇盛況を記す に期待と注目をひきつく開か 々能選挙服々だけに、各方面 削上をはかつた敗革第一年の

第二部四年論百五十三陸、第

るであらら、開場は低日午前 作品は第一部東洋協立十二語 三部形別及び工器二十五屆で

九時から午後五時までと原列

通機関である定場等合自動車や総合関係を設定はつて地方大学の重要に受けるとは、対しているとは、対しているとは、対しているとは、対しているとは、対しているとは、対しているとは、対しているというというというと る貨物自動館の配上に對し、業者 金値上を調つて、脂肪者なる大衆 節切な反應に避ひ、取締りの道 リンや部分語の機関を理由に 情勢を見てるた業者か一致して他にれまで内々選動をしたり或は トラックの資金の二関引上してゐる以上はタクシーでガソリン、部分唱が三別万 一致盟
短の運動を起すことを決
近くそれが、と問
質當局に向って
當高であると相當使命も出で、 遊りの出路した代表者に渡しく 合自動車の配上げは感覚する範疇 ルテルで總質を開催したが、各合自動車の配上げは感覚する範疇 では十五日年前十一時から朝鮮一般下層が認め利用が落い足切続

が置いだけに一层深地に控動が起 潜来所から遊べしたが真に証火し合自動車の館上げは影響する範疇 後七時生ごろ屋城建業町七八屋城 幸四郎の出し物 物進帳など決る

云はれる松本幸四郎の呼吸が踏む 歌類伎の単、歌禅伎十八番物の園一一郎、常然津に政太夫といる豪譚 一の「砂川県」を演じては日本一と「版である、毎日見得社書も あの厳快な六方、六十七歳の名侵 月二日から明治座 築行

夏田松本幸四郎の来興は京阪の廊、ニノニン○金俊景"この上着のま」師に題けてある最適の稲根キ側鮮に前畑の鉄蛇也工図を取出する論(入題人が迎み合ふ路を狙び太平道・脚して今年正月以来題行館配の改から五日間配置した明白座の舞跡(七郎代月成間大四市墨の入口で仕一大ノ七三金棚室(七)の二少年は実 生一代の最後の六方が奇しくもと決定した(可義は幸四郎の辞職) 市場である。十五日午前一京城長沙町九八金崎城で、黄金 萩本庭如▲勸調帳▲島ヶ森▲紅お口見得だんまり、▲伽輔光代 開習した天井は石材した上に雨 ツ廉伽を見ひ附近の国際で手営由 に天井が暗宮、金周浩は下町とな

造送した」めと見られてある チンビラ團 直鍮専門の

と逃走するのを交通安全デーで警に盗み織り、十四日午後二時ころ 家鼠の真鍮の飾つけバイブを以門

川の緒ですがアラメダの試合け 家もあたかっこものは平田の間 問合せる位語で本社は修手古舞 インニング低に訪ねて來る際心 かつたファンから試合の經過を 人気を呼んだ れた日孫野球戦、本社主催のア 、メダ劉半島軍の白牌殿は俄然

ザワ 野

所務事偵探林小

香丛六三五本莊山聲城京

京城日報仁川支局除 姓名在社會 一套面積、千百五十九町歩 一位 老 在社

五日年前九時ごろ京城武器町六

給費生を募集

囲と云ふ滑棚に関連相場でへ立つ 総つて京派における昨可職は廿英 らしいデマが顕れ飛びこのデマを を許可する方針である」と尤も

省廉的会。日下が東中で来る六月三十日まで「著熊落創むは既に決定されてあ、此職は人」して現立を補給することに決定 したに見ればりても同くこここ して思すを細いすることに決定。 て歴古田能なる諸の中十名を推断一母音を支給するとしなってある。

上に乗り出すことになった。 「て歴史版記える書の中十名を能館」製造を支稿すると、なつてみ力して郷華子女の郷職、風傷の向。における宮門鬼役以上在歴史にし「取選の七月初徒殿館の上七月瀬畔人代表に興へ、饒朝即堪か朏。 無では木平度小楽として日本電画「度速度破棄型主四開館で連鎖 取認の七月初行経衛の上七月上り

門在學中のマラソン即

五十四、同次に通縁近官令低川四、京城北南町法野涼次郎氏は京城北南天野路之助氏は五十 物價騰貴を理由に

明、咸賀洪原都労血雅典里忠原 東日氏は十個をいつれる是原献 金日氏は十個をいつれる是原献 金した 神谷園太郎さんガニ味から渡へ、

町一ノ一二二ウドンソバ屋山料底 ころだけに幣の日の歴史に出て上九日午後八寺四十五寺原蔵屋が一で小園店がギッシー駅んである 別近一僧は提升町四ヶ角の銃車師一演じたか、本可署、消防署、 た人々かドッと押しかけ大記ぎを

● 市東東北大倉は十七日午後六時か ・ 河畔東京和大倉は十七日午後六時か ・ 河畔東京ルで開く ・ 河畔東京ルで開く ・ 河畔東京ルで開く ・ 河畔東京ルで開く するが一般の帰跡は自由でも軍で人服に開する誹領官を開午後一時から三時まで同語議

献者西湯苗畝氏を招聘し土を中の帝東帯食口で人形研究の中の帝東帯食口で人形研究の中の部外線管が同時前では且下し

ハギレモス 津村路

中 小川 (中 小川) (中 小川)

※ 田口部内

恩

不永六月一日ヨリ定時株主總行終了ノ日に保式名が我詩後停止公告

と同七時の二回府民前で開く舞踊民論大會は十七日午後三 和 一面理的

> 林 鏣 業 株式會社

小

力

金値上の猛運動

自動車協會總會 ノ決議 護萊町の小火

雇人重傷を負ふ

所造製子硝星

らには後には引けないか……」

「ハ・・・・男として、頓まれたか こされが、 脈るといる事も

たから、燠としても何とかして、

、疑吹き砲・小

尺八合調本曲

春霞

部島寮利根部水上門

十六日 (日)

テキー様だきに産火に晒白もろてお目

婆さまむずめどこさ行く二升版下 八月の殿かせの複越干島波形所子

無ふは難の酸の施に品と評

章及第三樂章は旋律の機化二部或は三部となり第一樂 『カノン形式』により或は

【解説】歴をもえて、

[四八時十分] 都山流 京城幹部會員

情趣を表現されてゐるもの

に干島棚に労働の数

出来ませんとか何とか

や雨楽や舞び遊ぶ、神を動の進の

一歌詞」天の岩戸おし聞く、い言

今日の田原の出王信の殷製田庭と

名古屋甚句

ていせ脈る、たけさいするや顔を

削橋から

の女の問題に對して、容恥する事

苗来ない、交してみたところで

既に過ぎないと思ふので、彼に

だけ、口もろくにきょもしなかつ

小炭、粧、磐等を用の度器にていた。時間の関係上類子類のみをでい、時間の関係上類子類のみをではいい、時間の関係上類子類のみをではいい。

一弦と忘れた人員系属を指かずるた

者、その美美つて何ふ

ですから、その魔遇の假か、貴方 いの人間で、墨査を、現在出して

多少の好奇心が動いてゐた事は事

さら言ふ一度は、芙美に到して

僕は、此の間の、いはと下側」らう。そして、その方が問題の解

●で熱心に離り配けてゐるのだつ 思ふのです、勿論、僕は習低は頁

冏

子を、ざいざいときしらせて、身|やずく出来るでせらか、僕が美美

思想を日本・東北帝同一〇時四〇分(仙)

| 同八時四五分(大)産太夫・近頃|
| 同八時四五分(大)産太夫・近頃|
| 西東津町(介木・優太夫 |
| 西東津町(介木・原本) |

のだといふ事をお父孺が興信じに

彦はそのデスクの前の回物情

つた時から猪醤豚の古い日本建て一部の敷殖器は、彼が大學へ入

白き手の

同八時 五分 (東) 歌脈曲

は郷下つくきで、洋館の一棟が一を切らせるやらにすれば好いんだ

| 頼み事に何という意事を悪いて配・機がその娘にあつて、商業関いた|| 同業時五〇分(城)野湫試会「よーん、それで避は、その娘の」「いゝよ、心能するな――何なら|| 午後書時三〇分(域)野湫試会

「殿も、實に困つたんです、もと「假が表面に立つ事にすれば好いだ

流行の悲圖

変を載て良の時代の | 物してみようと高い。

(Augustum 久々に聴く<mark>郷上里落</mark>monum (Augustum 久々に聴く**郷上里落**monum

東北・北海道・中京から

この南部頭にかけて唄はれてある。 はいったもの、現が入りまで開発があらられている風味で新聞地方からいまでいまれては、にいがた師 関西くほけ 、こ、にいがた師 関西くほけ 。

ラデオ





午後零時五分 (東) 管脳樂 同六時 (城) 少女物語 同一〇時三〇分(城)家庭諸座 同七時五五分(大)小県生の時間、 任前七時一分(末)期の修器・正 七日(月) 前の同り前の同り間を開手開き

同一〇時 鮮丽交

島で目もとベッチリ鼻島で、口きたは唯一人、色は小黒で脅があまた土官のある中で、妾の好

★ 近代的な明朗色 ★

ブルン・オークル一號 灔 風 色・ナチユレル



ノリの好い若肌を育くみます。

に必ずウテナレモンクリームでお肌を充 弾力を増し、 密ひお肌を美白し、充分な姿を與へて 脂肪性クリームですから、肌理を郷かく ンにお肌の楽巻素ラノリンを配合した中 分に整へて下さい。植物性美肌素ベクチ 朝夕の御洗顔又は夜のお化粧落しの後 シットリと選びのある化粧

すつきりした美しいお化粧が出來ます。

'n 獨

脪 C あ

何 ²

6

いさわやかな・・・・・・・

これから殊に脂肪性の方におすゝめしたい

のは、つけ心地の爽やかな清新な水中粉のお

毛でよく伸ばしていたゞきますと。 に含ませて少しづつ濃目に塗り、次に牡丹砂 して最後にウテナ水自粉を筆剛毛か化粧海綿 自動の肌に適つた色を薄く叩いて下さい。そ 化粧です。洗顔後ウテナコールドを少量つけ てからガーゼで輕く拭き取り、次にウテナ粉

編本料性化サデザ 店**商吉政保久・**京東